

教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 令和5年3月23日(木) 午後1時30分～午後4時
- 2 場 所 伊東市役所高層棟5階中会議室
- 3 出席者 1番 高橋 雄幸君 2番 村上 恵宏君
 3番 沼田 芳美君 4番 遠山 泰範君
 5番 辻 恵君
- 4 参 与 教育部長 岸 弘美 次長兼教育総務課長 相澤 和夫
 教育指導課長 関野 耕一 幼児教育課長 山下 匡弘
 生涯学習課長 杉山 宏生
- 5 事務局 教育総務課課長補佐 太田 靖久
- 6 会議の経過

高橋教育長：ただ今から伊東市教育委員会3月定例会を開会する。議事に先立ち事務局から報告を行う。

(事務局から出欠報告及び資料確認)

高橋教育長：それでは議事に入る。始めに、令和4年3月から7月までの定例会会議録の確認を行う。修正点等はあるか。

(委員より修正点の指摘)

高橋教育長：会議録を一部修正し、承認してよろしいか。

(異議なし)

高橋教育長：承認が得られたので、令和4年3月から7月までの定例会会議録は一部修正のとおり決定する。会議録の署名は村上委員にお願いします。次に、教育長報告を行う。3月定例会教育長報告事項について、主な内容のみ説明を行う。

2月17日 校長会

- 20日 議会本会議
- 21日 議会本会議、教頭会
- 22日 伊東市感染症対策本部会議
- 24日 政策会議、行政区長委嘱状交付式
- 27日 市教育研究奨励賞授与式、市懲戒審査委員会
- 28日 伊東高校閉校式、伊東高校城ヶ崎分校閉校式、
伊東高校定時制卒業式
- 3月 1日 議会本会議（大綱質疑）
- 2日 議会本会議（大綱質疑）、第5回学校統合地域協議会
- 3日 議会本会議（一般質問）
- 4日 令和4年度壺太郎講座
- 6日 議会本会議（一般質問）、校長会（人事異動内々示）
- 7日 議会本会議（一般質問）
- 8日 議会本会議（議案審議）
- 9日 議会福祉文教委員会
- 12日 日本舞踊「沙羽乃会」発表会
- 14日 東部特別支援学校伊東分校卒業式、校長会（人事異動内示）
- 15日 社会教育委員会、小杉新聞堂「子ども新聞」寄贈、
宇佐美江戸城石丁場遺跡保存会より「計画書」寄贈
- 16日 東部社会教育振興協議会理事会、東海バス所長来庁
- 17日 門野中学校卒業式出席
- 18日 西小学校閉校式、東小学校閉校式
- 19日 旭小学校閉校式
- 20日 県立伊東商業高校閉校式

22日 議会本会議（最終日）、伊東市防災会議

23日 教育委員会定例会、伊東市職員内示

以上で報告を終わるが、何か意見・質問はあるか。

（意見・質問なし）

高橋教育長：それでは、各委員からの報告をお願いします。

委員：私は、北中学校と西小学校の卒業式、西小学校の閉校式に出席をさせていただいた。北中学校では、校長室に集まった際に、校長先生から、高校入試で進路先が全員決まりましたという話が聞けて、よかったと思う。それから西小学校の卒業式、閉校式の両方に出させていただいたが、校歌をいっぱい歌いますよね。木下壱太郎の作詞を初めて聞いたが、大変耳に焼き付き、それが伊東小学校の校歌に引き継がれるということは、よかったと思いました。中学校も小学校も本当に素晴らしい卒業式でした。

委員：私は宇佐美中学校と東小学校の卒業式に出席させていただいた。どちらも素晴らしい雰囲気で、宇佐美中の場合、校長先生は卒業生が宇佐美小6年生のときに教頭先生をされていて、教え子を中学校でも見ていらしたので、思いがあふれる挨拶で、とても感動した。答辞を読んだ生徒さんも、具体的にコロナ禍での思い出を語っておられ、目頭が熱くなる、素晴らしい式の雰囲気だった。東小学校は、最後の卒業生ということで、式に臨む姿勢が、最後の卒業式を良いものにしようという思いが伝わってきて、こちらとても感動的な卒業式だった。

委員：私は対島中学校と旭小学校の卒業式に出席させていただいた。対島中学校で答辞を読まれた代表生徒の内容がすごく素晴らしく、コロナ禍でできることが限られる経験もしたが、結局それがあったから、今温かい繋がりを持てたということ、また、親に向けた感謝の言葉がすごく心に響いた。本当に皆さん

落ち着いていた。開設された支援級の生徒さん1名が卒業されるということで、卒業式の案内は、その生徒さんが作業学習で取り組まれた手作りの封筒だった。一生懸命作られたのが伝わってきた。教頭先生の計らいで、卒業される支援級の生徒さんにも直接お話することができて良かった。旭小学校の卒業式も、人数が少ないながらも、子どもたちは元気があってよかった。最後の合唱も一生懸命練習したことが伝わってきた。

委員：教育奨励賞の授与式に出させていただき、教育委員の存在を紹介させていただくことができ、良かったと思いました。幼稚園小学校中学校が繋がって伊東市の子どもたちを育てていくことができるようにという取り組みなので、ここ数年幼稚園から応募がないようだが、頑張って応募して欲しいと感じた。南中学校の卒業式に参加させていただいた。すごく落ち着いた素晴らしい卒業式だった。何人かの男の子が感無量の様子で、何回か南中の卒業式は参加させていただいているが、初めての光景だった。学校が荒れていない証拠だと思った。校長先生の式辞、PTA会長さんの式辞に、人との関わりが大切と挙げられており、話が繋がっていてよかったと思った。大池小学校の卒業式では、袴姿の子がおり、女の子15人、男の子5人ほど、着物姿はいい意味で華やか、明るい感じを受けた。子どもたちも校長先生やPTA会長さんの話を真剣に聞いていた。また、国歌、校歌が拝聴ということで、コロナ禍で、そういうことをやるようになったのだと思った。最後に東小学校の閉校式についても、本当に感動した、暖かい感じの閉校式だった。

委員：先ほど、袴の話があったかと思うが、華やかで素晴らしいものだと思うが、準備もかなりあるので、準備ができる家庭もあれば、できない家庭もあり、子どもも保護者も、袴でやれる、やれないということに、心の葛藤があると聞く。学校によっては、なるべく統一しましょう、という先生方の配慮も聞くが、

あまり強くも言えないとのことだ。非常に難しいところであるとも耳にしている。卒業式の服装については、今後、少し考えられればいいなと思った。

高橋教育長：袴について、教育指導課長。

関野教育指導課長：校長会では、華美にならない服装で、と保護者には伝えている。学校によって差はあるが、華美に袴を含める学校もある。段上に登る学校ですと、袴で下が見えなかったり、着慣れない締め付けから具合が悪くなる子が出たりすることがあるので、こういう方向でお願いしたいと話している。ただ、委員ご指摘の内容を保護者からも伺っている。袴の予約を4月にするケースもあるとのことだった。校長としての考え方を保護者へ具体的に基準を伝えて欲しいと言われたこともある。袴を辞めるならみんなで辞めるので、とのことだった。話し合いの結果、卒業式で袴は全員着ないことになったこともある。富戸小では、例えば10人ほどのうち、8人は袴で、2人は普通の服で、恥ずかしい思いをしたということもあったそうなので、学校の規模にもよるのかと思う。どうしてもこれにしろとも言えないので、保護者と学校で相談しながら進めていくような形になるのかと思う。

委員：私も以前、校長先生から強制はできないと話を伺った。先生方でも女性の先生で、袴の先生がいらっしゃるので、なおさら難しいことだと思う。

高橋教育長：ありがとうございました。いろいろと課題はあるかと思うが、基本は、強制することはできないということが根底にある。学校教育の中で、そこを理解しながら、保護者と協力して、やめようという考え方ならいいが、服装については、一方的には言えない部分があるので、そこはご理解していただきたい。意見があったことは、校長会等で伝えるようにします。

高橋教育長：子どもたちは、この3年間、コロナ禍で本当に何もできなかったと思う。入学式で既にマスクの状態、スタートも2か月遅れた。社会全体がど

うなるのかという雰囲気の中、行事も思い切り出来なかった、友達の顔もよく分からないという子もいる中、本当によく頑張ったと思う。いろいろと辛いこともあったかと思うが、それを乗り越えて、さらに強くなって欲しいと思った。

高橋教育長：次に、議題に入る。始めに、議決事項、教議第24号「令和5年度伊東市教育行政の基本方針について」を議題とする。

（**高橋教育長**から資料に沿って説明）

高橋教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

委員：コロナの言葉が外れたことで、前進した感じ、新しい環境に向かうということを感じた。また、伊東小学校についても記述があり、新たにスタートする学校を見守っていききたいなと思った。そして、幼稚園保育園の地震津波対策について、幼稚園や保育園は園児の年齢が低く、また、職員に女性が多いので、いざというときに近くの小学校や中学校と連携を取れるようにした方が良いのではないかと思った。また、後世に伝えるべき貴重な文化財については、私自身も大人になってから謂れを知ることも多かった。例えば保育園や幼稚園のお散歩コースに取り入れてみたり、小中学校の校外学習で取り入れてみたりすると、記憶に残るのかと思う。

高橋教育長：非常に重要な視点だと思う。幼稚園、保育園の防災力については、幼児教育課長に話していただきたい。女性の職場という中で、近くの小中学校や企業との連携は非常に重要だと思う。

山下幼児教育課長：防災という部分で一番危険度が高いのは、宇佐美地区だと思う。宇佐美保育園では、津波浸水深が2、3メートル、宇佐美幼稚園が5メートル程度で、避難については、線路より山側が合言葉のようだ。幼稚園については、近隣コンビニの裏側へ逃げるということで、浸水深は高いが、安全な場所への距離が近い。保育園については、線路を渡るのに20メートル道路に

行かなければならないので、近隣のマンションを利用させてもらったり、熱海方面へ坂を上ったりして逃げるということが、避難ルートになっている。宇佐美保育園は避難の訓練を、毎月1回程度実施している。また、保育所について、安全計画を策定することが定められた。改めて保育所の安全計画については、高いレベルで定められると思う。保育園だと学校との連携が距離的に難しいかと思うが、訓練を一緒に行うなど、地域一帯の防災意識の向上に繋がるようなことも可能ではないかと考えている。それともう一点、散歩についてだが、行き先で神社にも行くそうである。神社で、園での遊びなどもするそうだが、そこに加えて、神社の謂れなどを子どもたちに提供できれば、遊びを通じた教育に繋がるのではないかと考えている。

高橋教育長：ありがとうございます。意見ということで伺って、しっかり活かしていきたい。

委員：子育てと防災の活動をしているが、学校の授業の中で、防災について取り入れて欲しいと思う。その理由としては、例えば、今の子どもは公衆電話が使えない子が多い。公衆電話自体が少なくなったが、防災教室をやった際に、小学生が、公衆電話の受話器を取ること、お金を入れる、カードを入れることを知らなかった。それと中学生になれば、自助共助の防災教育もすごく大切だと思う。小学校高学年から中高生の力は、すごく大切だ。小さいときから、繰り返し防災教育を実施できた方が良いと思う。伊東は海に近く、浸水域も広い。何が一番大事か、何をしたら良いか、どう動いたら良いかということが分かっていない子が多いので、授業の中で、総合学習の中で取り入れていただければ嬉しい。期待をしています。

高橋教育長：防災教育については、学校教育の中にもしっかりと取り入れ、学校教育全体で進めていく必要があると思うので、いただいた意見をしっかりと受

けとめて、今後活かしていきたい。

高橋教育長：その他、何か意見・質問はあるか。

（意見・質問なし）

高橋教育長：それでは、この件について確認する。教議第24号「令和5年度伊東市教育行政の基本方針について」は、原案どおり承認してよろしいか。

（異議なし）

高橋教育長：委員の皆様から承認が得られたので、教議第24号については原案どおり決定した。次に、教議第25号「伊東市教育委員会公告式規則の一部を改正する規則について」を議題とする。

（事務局から資料に沿って説明）

高橋教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

（意見・質問なし）

高橋教育長：それでは、この件について確認する。教議第25号「伊東市教育委員会公告式規則の一部を改正する規則について」は、原案どおり承認してよろしいか。

（異議なし）

高橋教育長：委員の皆様から承認が得られたので、教議第25号については原案どおり決定した。次に、教議第26号「伊東市学校給食センターにおける学校給食費の管理に関する規則の一部を改正する規則について」を議題とする。

（相澤次長兼教育総務課長から資料に沿って説明）

高橋教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

（意見・質問なし）

高橋教育長：令和6年度以降、また物価が上がれば、反映されるかもしれない。そういったスタンスだと思うが、給食の現場もなかなか厳しい状況にある。安

心安全で美味しい給食作りというこだわりを持って、一生懸命にやっていたが、やはり物価高騰という事情は厳しいものだと感じるので、ご理解願いたい。

高橋教育長：それでは、この件について確認する。教議第 2 6 号「伊東市学校給食センターにおける学校給食費の管理に関する規則の一部を改正する規則について」は、原案どおり承認してよろしいか。

(異議なし)

高橋教育長：委員の皆様から承認が得られたので、教議第 2 6 号については原案どおり決定した。次に、教議第 2 7 号「伊東市公立学校職員の自家用車の公務使用に関する取扱要綱について」を議題とする。

(関野教育指導課長から資料に沿って説明)

高橋教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

高橋教育長：それでは、この件について確認する。教議第 2 7 号「伊東市公立学校職員の自家用車の公務使用に関する取扱要綱について」は、原案どおり承認してよろしいか。

(異議なし)

高橋教育長：委員の皆様から承認が得られたので、教議第 2 7 号については原案どおり決定した。次に報告事項に入る。報告事項のうち、教報第 2 3 号「令和 5 年度小・中学校職員（市職員）及び幼稚園・保育園職員の人事異動について」及び教報第 2 4 号「令和 5 年度小・中学校教職員の人事異動について」に関しては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の第 2 1 条第 3 号にて、教育委員会の職務権限とされておりますが、委員会に付議する^{いとま}暇がなかったことから、私が事務を臨時に代理しましたので報告を行います。

(事務局、山下幼児教育課長、関野教育指導課長から資料に沿って説明)

高橋教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

高橋教育長：次に、教報第25号「伊東市立小学校統合通学費補助金交付要綱の一部改正について」を議題とする。

(相澤次長兼教育総務課長から資料に沿って説明)

高橋教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

高橋教育長：次に、教報第26号「令和4年度学年末休業及び令和5年度学年始休業における幼児及び児童生徒の指導上の留意事項について」を議題とする。

(関野教育指導課長から資料に沿って説明)

高橋教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

高橋教育長：以前、委員から報告のあった、地域で騒いでいる子がいる件は、最近はいかがでしょう。

委員：卒業式が終わった以降に、度々見かける。午後10時を過ぎても出歩いている様子がある。

高橋教育長：一応、情報として、学校や地域に投げかけていただければと思う。

高橋教育長：その他、何か意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

高橋教育長：次に、教報第27号「春季休業中における教職員の服務及び学校施設等の管理について」を議題とする。

(関野教育指導課長から資料に沿って説明)

高橋教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

高橋教育長：次に、教報第 28 号「春季休業中における教職員の服務及び幼稚園施設等の管理について」を議題とする。

（**山下幼児教育課長**から資料に沿って説明）

高橋教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

委員：今までの、保幼小中、全部を通してだが、春休みは年度の切り替えで、先生方はとても忙しく、なかなか休みが取れないと思う。できるだけ体を休めながら、新年度に向けて準備を進めて、気持ちを新たに、子どもたちを迎えていただきたいと思います。

委員：内容についてではないが、一番気になったのは伊東小学校で、今後も準備がたくさんあるかと思う。新しい小学校に向け、物心ともに準備が必要だと思うが、時間的には大丈夫なのだろうか。先生方も休みを取りたいだろうが、そのあたりうまく進んでいるのか。

関野教育指導課長：委員ご指摘のとおり、春季休業中はなかなかゆっくり休めないところもあるが、4月から改めて頑張ろうという思いもあるので、そこはワークライフバランスでやっていけたらと思う。伊東小学校については、10日に始業式、12日に入学式ということで、他の学校よりも準備期間を取り、学校運営に関する話し合いがされるかと思う。また、教育総務課の方でも、引っ越し等を順調に進めていただいている。何かあった際は、教育指導課からも手助けできると学校に伝えている。実際に始まると、様々な問題が起きるかもしれないが、その際は臨機応変に対応していけたらと思う。

相澤次長兼教育総務課長：今、引っ越しの話が出たので、今週から教育総務課を中心に引っ越し作業を進めている。土日には、全庁的に職員の応援をもらい、机や椅子の運搬を進める。来週も引っ越し作業を進め、電子黒板や精密機器については、業者に依頼をし、なるべく現場の先生たちには、負担が少ないよう

な形で考えている。

委員：ものすごい量があるかと思ったので、市の方も手伝っていただけるように、安心しました。

高橋教育長：すごいなと思ったのは、教育委員会だけではなく、いろいろな課から、200人ぐらいが手伝うよ、と手を挙げていただいた。その中から協力していただいて、計画的にやっていただくので、大丈夫だと思う。あとは、子どもたちを迎える学校の教職員が、体制をしっかりと整えれば、上手に行くのかと予想している。

高橋教育長：次に、教報第29号「伊東市立幼稚園の貸し出しについて」を議題とする。

（山下幼児教育課長から資料に沿って説明）

高橋教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

（意見・質問なし）

高橋教育長：以上で報告事項を終了する。暫時、休憩する。

（休憩）

高橋教育長：議事を再開する。次に、その他「市議会3月定例会の報告について」を議題とする。

（岸教育部長から資料に沿って説明）

高橋教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

（意見・質問なし）

高橋教育長：次に、その他「各課報告について」を議題とする。

相澤次長兼教育総務課長：2点報告する。1点目は、3校統合地域協議会について報告する。令和5年3月2日に協議会を開催した。内容については、これまでの協議を踏まえた決定や対策実施済みの内容について、報告を行った。

（相澤次長兼教育総務課長から資料に沿って説明）

本協議会については、今回の開催をもって、解散した。また、本日一緒に、伊東市スクールバスのしおりをお配りしている。スクールバスの運行概要やルールを記載している。一応、この一冊を見れば、スクールバスの利用が分かるようにしている。スクールバスの利用する世帯に対し、入学説明会等で配布していく。2点目は、伊東小学校開校式について報告する。令和5年4月6日に、市役所の特別会議室で、伊東小学校校旗授与式を行う。市長から伊東小学校校長に校旗を授与する。教育長が出席予定であり、教育委員の皆様の出席はございません。また、伊東小学校については、4月10日に始業式、4月12日に入学式を行う予定となっている。本来であれば、すぐに開校式を実施したいが、学校とも調整を行い、まだ児童が落ち着かない状況で、やりづらいということもあるので、落ち着いたら実施する予定である。時期は未定だが、5月もしくは6月になるのではないかと考えている。また、開校式については、教育委員の皆様の出席も検討している。教育総務課からは以上となる。

関野教育指導課長：2点報告する。まず、生徒指導の問題行動について、小学校では、腹いせに全く関係のない近くの子に暴力を振るうケースが見られた。中学校では、家を出たが、学校には来ず、ファミレスで勉強をしていたり、知り合いの家に行ったりしたというケースがあった。大事には至らなかったが、家庭と連携を取り、対応していきたい。それから、ネットトラブルについても報告がある。画像を送信した、悪口を言ったなど、そういったトラブルが見受けられる。年度末で、新年度に希望を持つ子もいれば、不安を抱える子もいるので、そういったことが問題行動に繋がりやすい。学校では、年度末と年度始は気を引き締めて指導にあたっていきたい。次に、いじめについて、この後、学級編制で変わったりするが、人間関係が変わっても様子を見るということを徹

底していきたい。人が変わることによって解消することもあるが、新たないじめを生む可能性もあるので、しっかりと対応していきたい。最後に、不登校について、新年度を新たな気持ちで迎えたいという子もいるが、逆に不安に思う子もいるので、ケースバイケース、子どもに寄り添った対応をしていきたい。教員も変わるので、引き継ぎを確実に行うよう、関係を断ち切らないよう指導している。2点目として、コミュニティスクールについて報告する。富戸小学校の1年目が終わり、周囲からの評判も良く、地域と円滑な関係でやりとりをしている。モデル校として、役目を果たせていると考えている。来年度は対島地区で、既に八幡野小、池小、対島中の学校運営協議会の委員も決まり、良い動き出しはできている。令和6年度以降は、宇佐美地区を視野に入れ、少しずつ拡大を図っていきたい。

山下幼児教育課長：令和5年度幼稚園新入園児見込数、令和5年度保育所への入所決定児童数について報告する。

（山下幼児教育課長から資料に沿って説明）

待機児童については、4月1日現在で、発生の見込みはないという状況です。

杉山生涯学習課長：新図書館建設の今後の流れについて報告する。

（杉山生涯学習課長から資料に沿って説明）

また、もう一点、議会の説明の中にあった新規事業「みち」を来年度から開始する。小学生の船を廃止し、バスで諏訪市に行く。世の中のコロナの対応がもう少し早ければ、そのまま船をやるという考えもあったのかと思うが、船で行くということは困難という解釈から、諏訪市に行くことになった。小学生5、6年を対象に、製造業の工場見学や時計作り等、様々な体験を行う形で進めていきたい。

高橋教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

委員：生涯学習課の新図書館建設について、まち作りの補助金が出るという話題が議会の質問にもあったが、その辺が認められたという認識でよろしいか。

杉山生涯学習課長：国土交通省の補助金、都市構造再編集集中支援事業について、調整を続けてきているが、この額で補助がおりるという返事はまだ来ていない状況である。4月以降に正式に内示が下りるが、事前の打ち合わせでは、問題はない旨調整は取れている。

高橋教育長：だいたい大丈夫だと思うが、まだ確実ではないということで、正式には内示が来てからだと思います。

委員：先日、伊豆新聞に伊東小学校のスクールバスの記事があり、その中で教育総務課の職員がバスの乗降の補助をすると書いてあった。他の仕事は大丈夫だろうかと思って、気になっている。

相澤次長兼教育総務課長：スクールバスの乗降場所が5か所あり、保護者の方から、そこに誰もいないと不安だ、というご意見をいただき、今後、委託で人をつける予定となっている。最初はルールみたいなものを子どもたちに教えていかないと、危険もあるかと思う。特に低学年児童はウキウキした気分で乗る可能性も高い。そこで、大人がしっかりと見守る必要があると思うが、いきなり委託とすると不都合もあるかと思うので、まずは、教育総務課の中で見守りを実施する。朝6時50分ぐらいから停留所で見守りを行う予定である。そういった話は議会にも伝えている。仕事そのまま、夕方6時7時となることは防がなければならないので、見守りを担った職員は、3時4時には退勤するような形で考えている。

高橋教育長：見守り要員については、いろいろと計画をしており、もう少ししたら表出しもできると思う。計画については、安心安全となるよう練っている。また、はっきりと出てきましたら、ご報告したい。

委員：職員の方も大変だなと思います。ありがとうございます。

相澤次長兼教育総務課長：最初に形を作ることが、すごく重要だと思っている。そこでうまく形作って、委託に引き継げればと考えている。

委員：問題行動の報告だが、3校統合で伊東小学校は他の学校より休みが長い。家庭での過ごし方もあるだろうが、その分学校に来づらい子が増えなければいいと思う。今まで小さい集団から大きい集団になるので、不安定さを抱える子も出てしまうと思う。休みが長い分、家庭での過ごし方など特別指導等はあるのか。

関野教育指導課長：特にこちらから具体的な指示は出していないが、我々が一番心配しているのは、特別支援学級の子ども、特に自閉情緒学級の子どもである。環境が変わってしまうと、うまく適用できないことがあるので、担任を通じて、何らかの声かけから、不安感をなくすようにと話をしているところである。他の子どもたちについても、いろいろと課題を抱えている子もいると思う。基本的にこちらでできることとして、3校の先生、支援員、関係職員をできるだけ伊東小学校に配置をするということを行っている。3校の普通級の子どもたちについては、それぞれの学校で何らか声かけをしていただいていると思う。

委員：3校の先生方が平均的に配置される形になるのか。

関野教育指導課長：例えば1学年に必ず3校の先生が1人ずつ入るところまでは至っていない。ただ、ある程度、問題行動の見られる子や特別支援の子を振り分けながら、気になるところには、事情の分かる先生を配置するなどしている。

委員：保育園、幼稚園の園児数について、転出が十数名いると伺った。これはやはり仕事の都合になるのか。これだけ子どもが少ない中、十数名は貴重な数だと思う。これは主だった原因などがあるのか。

山下幼児教育課長：委員ご指摘のとおり、両親の仕事の都合に依るところが多い。なので、少子化というよりは、働き方という問題になるので、対策としては打ちづらいと思っている。

委員：今お聞きして、転入が見込めるような施策などは、長い目で意識していきたいと思いました。もう一点、伊東小学校の件について、周りからは楽しみにしている声をよく聞くが、始まってから、バスのことや学校の施設面、運営面でいろいろと問題が出てくると思う。そういったことが出たときに、例えば5月6月ぐらいから、予算的な面は用意をしているのか。

相澤次長兼教育総務課長：年に4回、議会があり、どうしても必要なものについては、補正予算を組んでいる。主に年度末の予算は、翌年度に繰り越しという形になると思うが、基本的に予算を余分にとることはできないので、今の予算の中でのやりくりや補正予算、他の予算の流用ということが考えられる。

委員：予算が余分に取れないというのは、おっしゃるとおりだと思うが、それで議会にかけて予算を取ると、どうしてもタイムラグが出てしまう。流用などをうまく使っていただき、先に動いていただければと思いました。

高橋教育長：3校統合については、本当に大きな課題の一つとして進めてきた。3校の文化のいいところを出して、本当に素晴らしい学校になって欲しいと思っている。これからが本当に大切だと思うので、学校の教職員だけではなく、地域の皆さんも含めて、子どもたちを応援していただきたい。皆さんも意見があれば、また地域から出た意見を、この場で言っていただき、反映していきたい。子どもたちを信じてやっていきたいと思っているので、またご協力のほどお願いしたい。新図書館についても、生涯学習課が中心となり、市全体、市長部局も含めて協力してやってきたと思っている。形ができ始めると、またいろいろと意見が出てくるのではないかと思う。教育委員の皆さんはアンテナの感

度が高いと思っているので、ぜひ地域の声を届けていただきたい。

高橋教育長：その他、何か意見・質問はあるか。

委員：もう一点、すいません。東小学校の学童施設の横にあった木が切られていて驚いた。

相澤次長兼教育総務課長：いろいろと要望があり、伐採させていただいた。

委員：視察の際に、車の入れ違いのためにミラーをつけた方がいいという意見があったが、それはどうなったのか。

相澤次長兼教育総務課長：その点については、まだ協議中である。やれるところから対応させていただきたい。

高橋教育長：その他全般的に、何か意見・質問はあるか。

（意見・質問なし）

高橋教育長：今後の日程について確認する。

事務局：4月の定例会については、4月17日（月）午後2時30分を予定している。5月の定例会については、4月22日（月）を予定とする。

高橋教育長：以上で伊東市教育委員会3月定例会を終了する。

以上のとおり会議の次第を記録し、ここに署名する。

教育長 高橋 雄幸

委 員 村上 恵宏

書 記 松岡 翔太